

エンタープライズ向けクラウドセキュリティソリューション SaaS型脆弱性管理サービス QualysGuard

■ ■ エージェントインストール不要! 管理サーバ不要! ■ ■ すぐに始められる脆弱性管理

「SaaS型脆弱性管理サービスQualysGuardは、日々増加の一途をたどる脅威に対する企業のネットワークセキュリティを強化し、社内IT資産の状態管理やコンプライアンス準拠状況の可視化を可能にします。

■ SaaS型脆弱性管理サービスQualysGuardご利用のメリット

➤ 迅速性 :

ゼロデイ攻撃等日々増加の一途をたどり、ビジネス継続性に影響を及ぼすネットワーク資産の脅威を自動確認し、社内関係者にいち早く伝達する機能により、ビジネスリスクに対する早期対応・対策を可能とします。

➤ 正確性 :

検出可能な脆弱性の情報は自動的に最新化され、常に最新の脅威の有無を確認できます。

➤ 可視性 :

社内家計者のお立場に併せ、多種多様なレポートの出力が可能です。
また発見された脅威に対する技術対応状況の確認する機能により、ビジネスリスクに対する対応・対策状況を可視化する事が可能です。

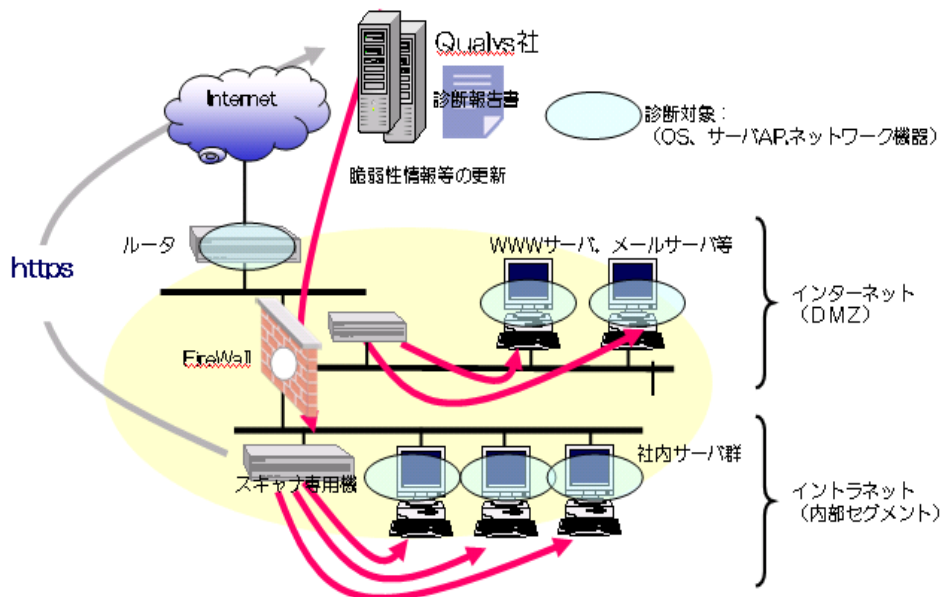
➤ 可用性 :

動作中サービスに影響する事なく、脆弱性検査の実施が可能です。稼働中サーバを停止することなく、最新の脆弱性有無や、ビジネスリスクをご確認いただけます。

■ SaaS型脆弱性管理サービスQualysGuardご利用イメージ

SaaS型脆弱性管理サービスQualysGuardは、下図のようにご利用いただけます。

対象サーバ・機器の登録およびスキャン実行等の制御は、専用のポータル画面で実施します。



■ 現状と脆弱性管理サービスQualysGuard運用による課題解決イメージ

脆弱性管理サービスQualysGuardご導入前と後で企業様におけるリスク対応の差が出ます。

導入前

従来は、一つ一つのサーバの状態を担当者が確認する必要あり

・担当者の稼働発生
・状態確認まで時間を要する etc...

対策の遅れから、攻撃を受けてしまうリスクが増大

導入後

SaaS型脆弱性管理サービスなら、即座に状態をスキャン、レポートを作成して現状を把握可能！

自動スキャン
自動収集

即座に現状を把握し、対策検討・実施フェーズに素早く移行！！

■ 現状と脆弱性管理サービスQualysGuard種類について

QualysGuard サービス種別	主要機能	対応レイヤ	備考
脆弱性管理ソリューション QualysGuard VM (Vulnerability Management)	最新の公開脆弱性を元に対象システムの脆弱性を確認し、担当部署へのエスカレーション・対応状況の確認までを包括的にカバー	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク OS ミドルウェア ウェブアプリケーションの標準実装確認 入力施行（一部） 	<ul style="list-style-type: none"> 外部スキャン可能 内部スキャン可能 認証スキャン可能（内部N/Wのみ）
ポリシーマネジメント QualysGuard POL (Policy Compliance)	対象システムに対し、予め定義したルール（状態）に合致・非合致の状況を確認	<ul style="list-style-type: none"> OS設定情報 ファイル情報 等 	<ul style="list-style-type: none"> 内部スキャンのみ 対象システムへの認証ログイン必要
Webアプリケーション診断 QualysGuard WAS (Web Application Scanning)	対象のWeb Applicationに対し実装や、開発時のセキュリティホール有無を確認	<ul style="list-style-type: none"> ソースコード リンク（クロール） 入力試行 	<ul style="list-style-type: none"> 外部スキャン可能 内部スキャン可能
PCI DSS ASVスキャン NinjaSCANサービス	PCI DSS 11.2項ASVスキャン専用ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク OS ミドルウェア ウェブアプリケーションの標準実装確認 	<ul style="list-style-type: none"> 外部スキャン専用 PCI DSS 11.2項準拠状況確認用